

呉屋 淳子

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 博士後期課程

『生きた文化』の継承者－長寿社会沖縄における高齢者が担う役割と地域の教育力－

これまで地域社会の中で受け継がれてきた民俗芸能は、特定の生活共同体において支持され、独自の継承過程を経て継承されてきた。その生活共同体の形態や範囲は多岐にわたっており、民俗芸能の継承形態のあり方もさまざまである。現在、継承をめぐる社会的状況に変化が生じている中で、その継承形態の多様性とその実態について明らかにする必要がある。本報告では、沖縄県八重山地域を例として、民俗芸能の継承の実態を高齢者の活動という側面から明らかにした。これまでインフォーマルな地域社会の中で年長者から若者へと継承されてきた民俗芸能は、従来のような継承が困難になりつつある一方で、学校教育を通して継承するという新しいスタイルがうまれている。このような新しい継承形態の中でも高齢者たちは大きな役割を果たしている。それは、技術指導に留まらず、経験者として激励を送ることにより、継承する者のモチベーションをより強固なものにしているともいえよう。